



スズガモ号

9月定例クリーンアップ

【活動報告1】

9月27日(日) 9:00~11:00 曇り

山田陽治

実施内容：侍従橋～大道橋(土嚢袋2袋)

参加者：飯村優介、飯岡学、金子英司、大野颯太、小池碧馬、今井康祥、今井翔太(中3)、柏倉正和、柏倉陽斗(小5)、和田崇、和田啓吾(小5)、永井理恵、永井香帆(小5)、山口政祥、山口葵生(年長)、貞廣宇保(中2)、五月女陽斗(小6)、高橋悠紀(小6)、田見結奈(小5)、白井二葉(小5)、山田陽治(計21名)



スズガモ(鈴鴨)

学名： *Aythya marila*

北アメリカ大陸北部やユーラシア大陸北部で繁殖し、日本には越冬の為に飛来する。日本に渡ってくるカモの中で最も飛来数が多い種とされ、多い年では平潟湾でも1,000羽を超える群れが観察できる。和名は羽音が金属質で、鈴の音に似ていることからつけられたとされるが、この特徴は別種のホオジロガモの間違いという説もある。アサリ等の二枚貝類を好み、水に潜って採餌する。だぼはげ通信20号で表紙を飾ったキンクロハジロと雌雄共によく似ており、特に雌は慣れるまで外見での判別が難しい事がある。

深沢大地



ハゼ釣り大会

【活動報告2】

10月4日(日) 9:00~14:00

吉岡快(小1)

日よう日のあさ、ハゼがつれるかドキドキしていました。むつうらえきでまちあわせをして、みなで川へ行き、あいさつしたあとに、かねごととだいちゃんが、おもしろい、よしもどし、はりのつけかたをおしえてくれました。

じじゅう川の水はすんでいて、魚がたくさんおよいでいました。

2ひきしかつれなかったけど、はじめて魚がつれたことはうれしかったです。

ほかの人はたくさんつれたので、みなで、マハゼとチチブをてんぷらにして食べました。

おにいちゃんたちが、魚のあたまとうろこと、ないぞうをとってさばいてくれたのはむつかしそうでした。

ゆうさんがあげてくれた天ぷらは、あたまもしっぽもほくほくして、とてもおいしかったです。

またらいねんも行きたいです。



10月定例クリーンアップ

【活動報告3】

10月25日(日) 9:00~11:30 曇り

山田陽治

実施内容：諏訪之橋～大道橋(土嚢袋1袋)

参加者：今井康祥、今井翔太(中3)、深沢大地、大野颯太、小池碧馬、貞廣宇保(中2)、五月女陽斗(小6)、甲斐満、甲斐つばさ(小5)、白井二葉(小5)、竹内光咲(小3)、くらもちひな(小3)、友利海仁(小3)、

山田陽治

(計14名)

気づいた点：大道小の子どもたちがたくさん来てくれました。



秋の恵みをいただこう

【活動報告4】

11月1日(日) 9:30~14:00

5年 大塚こころ

秋の探検に参加しました。

今年はキノコが不作で、あまり見つけられませんでした。キノコの先生に案内してもらい、天然のシイタケをとることができました。シイタケまでの道のりは、とても険しくてドキドキしました。

でも、苦労してとれたシイタケのバターいためは、今まで食べたキノコの中で一番おいしかったです。

キノコ以外にも、ムカゴをたくさんとったり、きれいな秋の花を見つけたりして、森での1日をめいっぱい楽しめました。



11月定例クリーンアップ

【活動報告5】

11月22日(日) 9:00~11:30 晴れ

飯村優介

実施内容：六浦2号橋～大道橋（土嚢袋4袋）

参加者：飯岡学、金子英司、深沢大地、小池碧馬、五月女陽斗(小6)、飯村優介(計6名)

気づいた点：参加人数は少なく、ゴミは下の芦原の中に多くありました。芦原のゴミ等は治水事務所の報告書

にも追記予定でいます。

午後の調査にも参加された方が多く調査内容も良質でした。冬場は10時開始が良いと思います。



ヨツモンカメノコハムシ (大道橋付近のヒルガオで大発生)



アシの花 (長島橋付近)

琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ ケラマサワガニ ～



抱卵



生息環境

学名：*Geothelphusa amagui*

阿嘉島にて

甲幅：32mm

分布：慶良間諸島(渡嘉敷島、阿嘉島、座間味島、慶留間島)、
久米島

沖縄諸島周辺の島嶼(上記分布域)に生息する小型のサワガニで、その地域の固有種である。沖縄本島、伊平屋島にはよく似たアラモトサワガニが生息するが、外見からの見分けは難しく、オスの生殖器の形状の細部を見る必要がある。生息地は主に河川の源流域で、生息する島によってはいつ枯渇してもおかしくない非常に狭い沢で細々と生活している。このような環境にいることから学名にある小種名には沖縄方言で「雨ごい」を意味する「amagui」が付けられた。環境省のレッドリストでは絶滅危惧ⅡB類に指定され、2020年11月からは沖縄県が独自に制定する「沖縄県希少野生動植物保護条例」に指定され、許可なく採取、飼育、譲渡が禁止されることとなった。

監修：熊井健（沖縄在住）

トピックスその1

9/2 (水) 六浦南小学校4年生による侍従川観察 ⇒
…山田が対応

9/9 (水) 六浦小学校5年生による侍従川観察
…飯村、山田が対応

9/15 (火) 大道小学校3年生による侍従川観察
…飯村、山田が対応



朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

今年の残暑は9月半ばまで続き、周辺の森の木の根と共生するキノコは秋キノコが大不作。遠征での収穫になった。9月、10月と2000m級から1500m級と険しい岩山に登った。ホウキタケ、マイタケ、ホンシメジ、コウタケ、等々の大成功。晩秋も周辺地域は乾燥で不作だが、海沿いで少しのショウロが出たり、倒木のキノコは出始めたりしている。初冬も三浦半島の谷筋では冬キノコ探しができそうだ。



ホウキタケ 9月山梨県



マイタケ 9月山梨県



ホンシメジ 10月山梨県



コウタケ 10月山梨県



エノキタケ 10月鎌倉市




ショウロ 10月金沢区



ヒラタケ 11月金沢区

トピックスその2

- 9/17 (木) やまだようじ自然塾フリースクール自然の  がっこう『いかだで川下り』…山田が対応
- 9/23 (水) 大道小学校3年生に侍従川の話…山田が対応
- 9/24 (木) 六浦小学校5年生に侍従川の話…山田が対応
- 10/6 (火) やまだようじ自然塾フリースクール自然の がっこう『ハゼ釣り』…山田が対応
- 10/16 (金) 大道小学校3年生による野島遠足&観察 …山田が対応
- 11/26 (木)、12/3 (木) 高舟台小学校5年生(一クラス)による朝比奈北市民の森での森探検…山田が対応
- 12月 冬の森探検は中止(例年のコース内で通行止めの場所がいくつかあるため)



北の国から ～絶滅危惧種が130年ぶりに帰ってきた～ 瀧本宏昭

以前もご紹介したことがある「タンチョウ」。本物は見たことなくても、写真の姿に覚えがある人も多いのではないのでしょうか。「ツルのおんがえし」でGoogle画像検索すると、この鳥をモチーフにした絵がほとんどです。実際の大きさは全長140cm、翼を広げた幅は240cmになります。日本国内の個体数は約1800羽で環境省の絶滅危惧Ⅱ類、特別天然記念物に指定されています。ヨシが生えるような湿原の地面に巣を作り、ヒナがある程度大きくなると畑や水田に出てきます。この鳥は、明治時代には絶滅したと考えられていましたが、大正時代に釧路湿原で数十羽が再発見され、その後の地元住民による給餌などの保護活動によって北海道東部を中心に個体数を回復させてきました。そして、現在も分布を拡大しつつあり、北海道の北部や北海道の中央部（道央）でも子育てするタンチョウが増えてきました。

そして、2020年5月26日、私が働くウトナイ湖で小さなヒナを育てていることが新たに分かりました。付近で子育てした記録は130年ぶりです。実は、2018年から飛べるようになったばかりの幼鳥が付近で観察されていたのですが、ヒナが小さい頃にいる場所が不明の状態でした。人目の付かない湿原の奥地で子育てしていたため2年越しの発見となりました。周辺の観察記録から、このつがいは北海道道央2例目と言えます。この事例の発見者となることができ、うれしくて少し泣きそうになりました。

道央ではさらに2020年から子育てを開始したつがいが2つ確認され、4つがいが道央で子育てしていることが分かっています。道央では給餌をせずに自然に増えており、これからさらに増えていくと考えられています。世界的に自然環境の悪化のニュースが多い中で、うれしい出来事です。



写真左が今年ウトナイ湖で育った子

侍従川調査報告 学生部

2020年9月27日（日）

【クリーンアップ調査】 【調査範囲】 六浦二号橋～大道橋

【採集した生物】 【貝類】 カワナ、イシマキガイ

【昆虫類】 コシボソヤンマ幼虫、アメンボ

【甲殻類】 ミゾレヌマエビ、テナガエビ、クロベンケイガニ、モクスガニ（卵持ち）

〔魚類〕 ウナギ、ボラ、メダカの種類、マハゼ、アシシロハゼ、ウロハゼ、ヒナハゼ、ミ
ミズハゼの種類、シマヨシノボリ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリンゴ、チチブ

〔爬虫類〕 ヒバカリ

〔備考〕 かすみ橋付近の石の裏に卵塊を発見…スミウキゴリ? (今井)

〔下流調査〕 【調査範囲】 : 平潟橋~上流 160m の範囲

釣果 : マハゼ 2 2、ウロハゼ 1、クロダイ 2、アカオビシマハゼ 1、ギンポの仲間 1

岸壁の牡蠣採集 : ヒライソガニ、ケフサイソガニの仲間、ヨコエビの仲間、イソコツブム
シ、ゴカイの仲間、タテジマイソギンチャク、イガイの仲間

トラップ (お魚キラー : 餌としてコイ用の練り餌) 、平潟橋から上流 1 4 0 m の位置 : ヒ
メイカ 2、アラムシロガイ 1

目視にて確認 : メジナの仲間、ボラ、アジ、スズキ

2020年10月25日 (日)

〔クリーンアップ調査〕

〔調査範囲〕 諏訪之橋~大道橋

〔魚類〕 ウロハゼ、マハゼ、スミウキゴリ、ビリンゴ、
チチブ、シマヨシノボリ、ミミズハゼの仲間、ボラ、
アユ、メダカの仲間、アカエイ※目視

〔昆虫類〕 コシボソヤンマ(幼虫)、シオカラトンボ(幼
虫)、コノシメトンボ(成虫)※目視、オオアオイトト
ンボ(成虫)※目視、アメンボ、ガガンボの仲間(幼虫)

〔貝類〕 イシマキガイ、カワニナ、モノアラガイ、コモ
チカワツボ、タイワンシジミ

〔甲殻類〕 ミソレヌマエビ、テナガエビ(脱皮殻)、モク
ズガニ、クロベンケイガニ

〔鳥類〕 ハクセキレイ※目視、カルガモ※目視



アカエイ



コノシメトンボ

2020年11月22日 (日)

〔クリーンアップ調査〕 【調査範囲】 六浦 2 号橋~大道橋

〔採集した生物〕 ニホンウナギ※目視、スズキ※目視、マハゼ、スミウキゴリ、ビリン
ゴ、チチブ、ボラ、テナガエビ、ミソレヌマエビ、クロベンケイガニ(脱皮殻)、モノア
ラガイ、カワニナ、イシマキガイ、二枚貝の種類(死殻)

〔上流~源流域調査〕 【調査範囲】 大道橋~本流の源流域

〔参加者〕 深沢、金子、飯村、五月女、飯岡 【調査時間】 12 時 30 分~15 時

【採集した生物】 スミウキゴリ29、ウキゴリ2、シマヨシノボリ12、チチブ1、モノアラガイ多数、カワニナ多数、コモチカワツボ多数、ヌマエビ14、ヒラテテナガエビ1、モクズガニ3(脱皮殻2)、サワガニ3、コシボンヤンマ(幼虫)6、ミルンヤンマ(幼虫)1、カワトンボ(幼虫)2、コオニヤンマ(幼虫)1、シマアメンボ多数、モンキマメゲンゴロウ3、ウズムシ目の一種多数、ヒナカマキリ1、カブトムシ(幼虫)3、アカネ属の一種(成虫)2、ウラギンシジミ1、イソヒヨドリ1、ジョウビタキ♀1、カルガモ2、オオバン1、ハクセキレイ2 ※多数=30個体以上



ウラギンシジミ



ヒナカマキリ

【備考】 学生部調査では初記録となるヒラテテナガエビが確認された。今年9月の定例クリーンアップでも採集されており、侍従川では3例目となる。今後も注意して見ていきたい。

事務局だより

◆年末以降の活動予定

☆定例クリーンアップ 12/27(日)、1/24(日)、2/28(日)、3/28(日) ※雨天中止

10時~11時 大道一丁目緑地(ちとせ園) 集合

冬場は開始時間を10時にします。ご注意ください。

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、

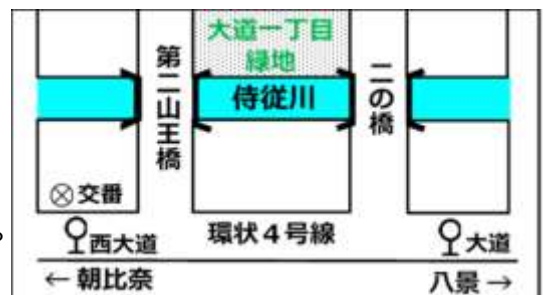
網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆1月 ネイチャークラフト教室

■学生部の活動

☆1月 大道溪谷整備 ☆1月~3月 水鳥調査

☆2月、3月定例調査：上流域(定例クリーンアップ後に実施)



<< 新型コロナウイルスの対応について >>

1月以降も例年どおりの活動を予定していますが、状況により変更・中止となることがあるので、活動の詳細は、ホームページ及びメーリングリストでお知らせします。ご了承ください。

《編集後記》 今年には新型コロナウイルスに振り回された1年でした。まだまだ先は見通せませんが、会の活動は感染対策をしっかりとって続けていけたらと思っています。皆さん感染にはくれぐれも気をつけて、どうぞ良いお年をお迎えください。(MK)